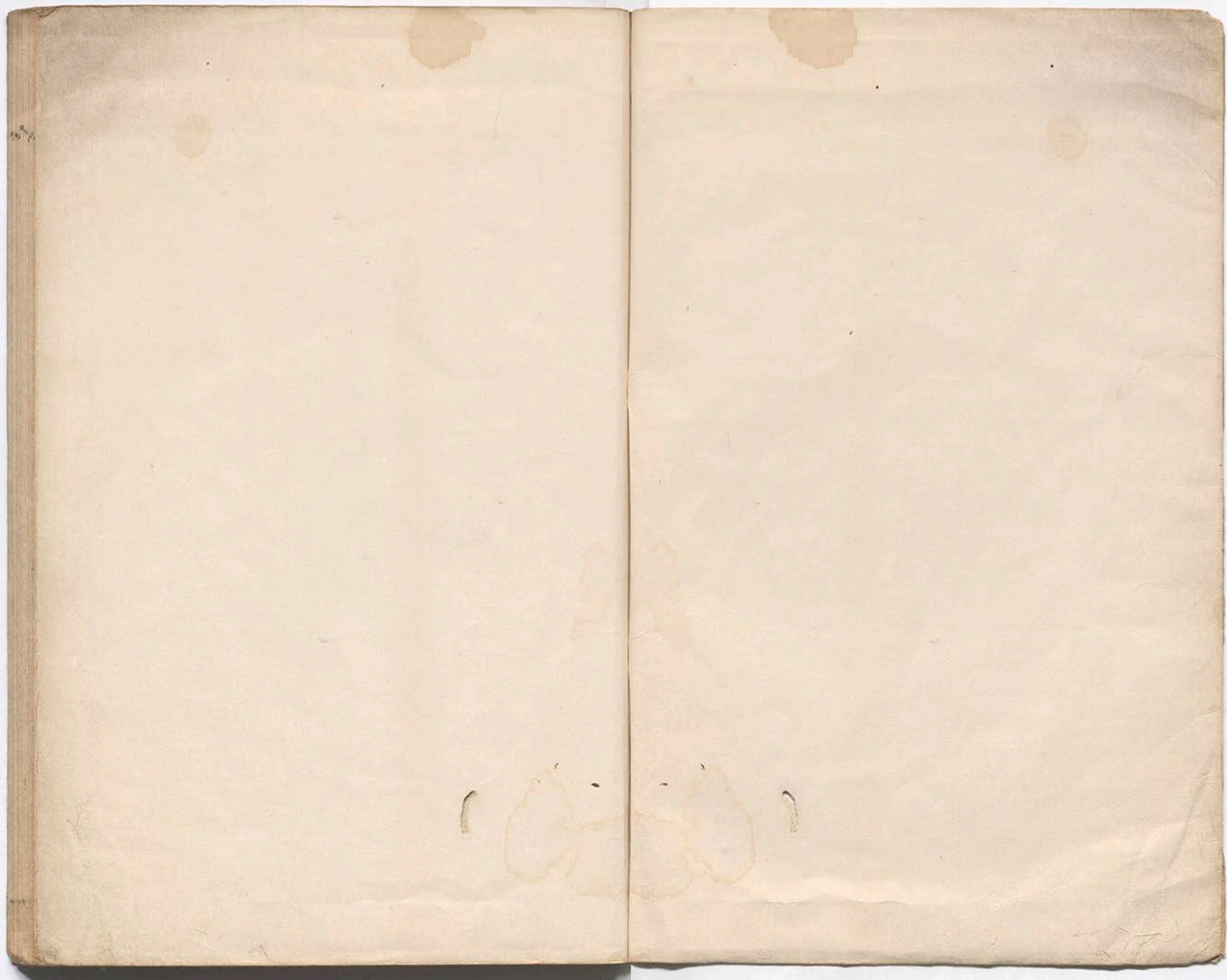


集古十種

法帖  
定家卿真蹟小倉色紙





尾張家御藏

此文御及右紙りし由  
背面左下字何也

心すふわん  
ふりすまらふ  
けいけい  
てんてん

秋元家藏

雨は地ふりまはれ  
新れを花志のふれ  
は海よりふれかむ  
少乃こむ一葉

川

藤原信隆  
昔とてよ流しつえぬ  
土つよやまのふりかむ

不遇言

長州家久益田清之助藏

此は幾多古をとりて  
背面ありしなり

けむしとるよわきを

あちいてふむしを

何れもたなる

秋乃遊ふ夕禮

三ノ中

おまむねをかひあまきくは

いほのふやきをゆめよしよ

橋長政

遊まよほるといふとておそ

たもれつるをわよほし

捲律師除

小乃をかくのいふなり

紀伊家御藏

古ぬいとを海川に  
乃う羅れゆふれま  
下わくや雲くほ  
の牙もころれは

同

御藏

一 光に  
雨は春の侍乃ち山  
るなつくまのれ  
おまひぬふ

藤堂家藏

君を先春の  
野に侍るわが  
つじ我衣手に  
はまゝありて

雲初家藏

世中よみちこま  
ふまれば意む  
やほ乃たのり  
志のせしくま

加州家藏

おきむく程新ふれ  
取屋戸れ休むく死  
了むく。まゝ入る  
祢ふすも貴ふふれ

加州家人本多玄蕃助藏

三つんた  
海浜もじり  
まならまぐり



東本願寺家人松本主殿藏

古礼のゆへ  
かへふやうの  
志すやうに  
相坂の世持

久世家藏

おまけの  
乃はくは  
まの  
た敷え

王教ふ家身をば  
おまへにちんてん  
心と刀併れむ乃朽  
何まわぶくれ

夏の夜また雷  
なつとあけぬ家を  
雲乃いほこ月  
やどまらむ

三井三郎助藏

久よーのーかき乃  
あきか現さよふき  
つもるつさむくこ  
ろせうはるち

南部家藏

あむんて乃ちれ  
いんにくらるれ  
むーとそ乃とた  
まえけり計ち

三井八郎兵衛藏

宇が己志敷い心を  
榮は勢乃山字人志  
よ波計え示禮とん  
修装箱ぬ毛乃巻

水戸家御藏

遊居乃とを和し敷  
あなはいとかち坊し専  
田く休毛し新箱ぬ  
こ心のみちりぬ

井伊家藏

皎く霞をほみ紅乃  
毛みち紫く人あら  
は侍まむ無しは乃  
み遊寺ほみ素ん

仙臺家藏

花明乃法まなく  
尼寺し和れよ里  
わの川尖えしか李  
う純わ乃トあ

百一 起原の中  
言乃 糸子の  
おほ 海の中  
むい たりなる

不えれに 侍ふ海  
変心とく 不き海  
身乃 侍ふ海  
なす ぬへす

中川家藏

王教れ志乃心くす八  
可てはか昔さく  
きふをり寺志乃  
何れと文り何

岡田氏藏

堂満装素よ田江  
何れと文り何  
志波志乃志宗志  
何れと文り何

後藤庄三郎藏

伊ふし色花奈良  
乃女やれやへ休  
羅きふ古乃へ小  
下何むぬれり

後藤庄三郎藏

隱士貴良藏

花乃色走り下り  
坐利交き清ら  
日女身走に節笛  
奇加光世志満仁



田安御藏

山ノ木乃竹新  
草々々々々々  
志也遊来於此也

郡山家藏

河原ノ物々々々  
乃山乃更山地  
堂法乃かた  
下ノ寺乃おん

田子乃浦より地  
出て尺礼を白妙  
の布しれをうぬよ  
ゆきんもあつ、

朝ほら妻有明の  
月と云ふまてり  
芳ぬく情少り  
ふれり志存ゆき

又勢入切れを山  
乃雨ま乃整てたり  
まぬれずそぬれ  
伴入えかえり教

雨満乃入程る里  
休ま元れはか教  
山家みそは山  
伴入一月かえ

或家蔵

歳又々冬先て乃  
野々休て、わゝふ  
ほむ社こゝろに  
ゆきてるや侍

或家蔵

たしはるぬあ履  
秋乃にてのゆき  
ならてあま行  
物と我身やあま

その多銭はうねぬくはま室ゆしてなう  
侍へしとれあ終ても空もも優劣乃論  
ゆも及びすまゆあ終見乃あ終すへ  
本にもちるすきく澤敷のあはしあま  
あまうふよきうひてね入るるの

148603

148603

47  
Murray

